

第84回「ハートミーティング」意見交換の内容について

職員自主研究会「Sustainable カフェ」のメンバー

★市長からのコメント

- 皆さんの魅力が人を集め、結果として12年間の多彩な活動の歴史となっている。皆さんのような部門横断的な取り組みがきっと役に立つ。今後、さらに輪を広げていってほしい。
- 組織は“はしご”である。議論、意思形成過程では横に。そして、実行、決定する際は縦に。局長、部長、係員関係なく、議論し、皆で知識や知恵を集め課題解決していくことが理想である。
- ワークライフバランスの「ライフ」の所で何をするか。地域活動もひとつだし、皆さんのような自主勉強会もそう。それが巡って仕事にプラスになるような循環を、市の職員が率先して作り出して欲しい。
- 物が満ち足りたとき、生きていて良かったと思える場が必要となるだろう。それが文化であり、京都は文化を軸にしている。皆さんも、何かしらの「軸」があるような仕事・生活・活動をして欲しい。

★参加メンバーからの主な声

- 「持続可能性の秘訣。そしてこれから。」というテーマで、非常に多岐に渡る話題があがった。今後の活動の具体的な課題も分かり、有意義だった。
Sustainable カフェの活動について立ち止まって考え、確認し、思いを新たに再び歩き出すということができた良かった。
- いろいろな事柄はきっぱり切れるものではなく、いろいろな部分で繋がっている。一見、壁があるようにみえても、対話をすることでお互いを理解し、乗り越えていきたい。
- 小さな変化を積み重ね、大きな変化に繋げていきたい。軸を持ちつつ、新しい未来へバトンを繋いでいきたい。皆がそういう意識を持てば、大きな動きになる。